

花水木

第 8 号


水と緑と歴史豊かな村君小だより

令和 2 年 1 1 月

羽生市立村君小学校

羽生市 堤 107 番地

TEL 048-565-0223



体験活動を通して豊かな心を育む

校長 鳥海 一寿

村君小学校の特色ある教育に、豊かな自然を利用した体験活動があります。その中でも、4・5年生が体験する利根川でのボート体験は本校ならではの活動です。ボート体験のねらいは、ボートでパドルを漕ぐ体験をしながら、自然の様子を見て、利根川について理解を深めることです。本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、秋に延期して10月15日に実施しました。毎年、栃木カヤックセンターの方にボートを準備してもらい活動しています。今年も、参加者とインストラクターの健康観察、道具の消毒など、感染症対策をして実施しました。

まず、学校から利根川の河川敷に移動して「はじめの会」を行い、パドルの使い方を練習しました。その後、河原まで移動して3艇のボートに乗って出発しました。子供たちは、川の水の色、風やにおいなどを感じながら、利根川を進んでいきました。途中、中州で休憩して、砂やゴミの様子、生き物の足跡などを見ました。そして、再度出発して、3艇のボートで競争したり、川岸の植物や生き物の様子を見たりしながら、加須未来館に到着しました。



最後に、栃木カヤックセンターの方から、次のような話がありました。「このようなボート体験をしているのは、日本中で村君小学校だけです。ボートの上から利根川の自然を見る貴重な体験です。故郷の利根川を愛し、誇りに思ってください。」この話のように、子供たちはボート体験から様々なことを感じ、学んだようです。

【子供たちの感想から】

- みんなで息を合わせてパドルをこいで進みました。最初からとばしすぎて、さいごスタミナがげんかだったけど、力をふりしぼってゴールできました。(4年 中山蒼一朗さん)
- 3組のボートで競争したとき、せつ戦で負けてしまいそうになったけど、チームで力を合わせてがんばったら、勝てたのでうれしかったです。(4年 平井 結稀さん)
- かけ声といっしょにパドルでこぎ出すと、私たちのボートは速く進みました。寒くてつかれたけど、秋の自然をたくさん見ることができてよかったです。(5年 今成 彩夢さん)
- 未来館に行く途中、ぼくはスリルを楽しむために船から顔を出しました。すごく楽しかったです。今年で、ボート体験はさいごだったけど、いい思い出になりました。(5年 遠藤 星夜さん)

ボート体験を実施するにあたり、利根川河川事務所川俣出張所には、利根川の利用許可、小川工業株式会社、田部井建設株式会社の皆様には、河川敷の草刈りなどの準備をしてもらいました。加須未来館では、水道、着替えの部屋を利用させてもらいました。関係の皆様様に心より感謝申し上げます。裏面のボート体験の新聞記事も御覧ください。

11月には、ムランピック2020(村君小運動会)、なかよしハイキング、持久走大会など、大きな学校行事があります。学校行事や体験活動を通して、思いやりの心、感動、友情など、豊かな心を育むことができます。万全な感染症対策をしながら、子供たちの心に残る活動を進めてまいりますので、保護者、地域の皆様にも、御理解と御協力いただくようお願いします。

インフォメーション

【第2回学校運営協議会】10月5日(月)

10月5日(月)に第2回学校運営協議会が開かれました。今回は、5時間目に授業の様子を見ていただきました。また、9月に実施した学校評価アンケートの結果や取組について説明し、意見交換を行いました。「大変よく学習に取り組んでいる」「あいさつもよくできている」「あいさつは、大人から声をかけ、子供を変えていく」等のたくさんの御意見をいただきましたので、今後の教育活動に生かしてまいります。



【就学時健康診断・親の学習講座】10月13日(火)

来年度、本校に入学する予定の5人の新入児が、元気に来校しました。緊張しながらも就学時健康診断にしっかり取り組んでいました。来年度の4月が楽しみです。また、新入児の保護者を対象に「親の学習」講座が行われ、「今、求められる親の役割」と題して、県家庭教育アドバイザーの小川先生から多くのお話があり、親として自分の子育てをふりかえるよい機会となりました。



【お話会・読み聞かせ】

子供たちが楽しみにしていた「お話会」と「読み聞かせ」ですが、先月からようやくスタートしました。10月19日(月)は、1～3年生のお話会。10月26日(月)は、4～6年生の読み聞かせ。いずれもボランティアさんによる、素晴らしい内容で子供たちも熱心に耳を傾け、聞き入っていました。



☆11月1日は「彩の国教育の日」

埼玉県では、教育に関する理解を深めていただくために、11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日～7日までを「彩の国教育週間」としています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの事業が自粛されています。このような状況だからこそ、身近な人と自然・人・本・家族・地域の大切さや思い出について語り合い、元気で明るい気持ちになる教育週間にしましょう。

☆11月は「いじめ撲滅強調月間」です。

埼玉県は、毎年11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめ問題の根絶に向けた取組を行っています。いじめは重大な人権侵害です。「いじめは絶対に許さない」を合言葉に、学校・家庭・地域が一体となっていじめ防止に取り組んでいきたいと思っております。御理解と御協力をお願いします。



11月行事予定

1	日	
2	月	開閉会式練習 校内読書週間～30
3	火	文化の日
4	水	朝会 全校練習(大玉送)
5	木	応援練習
6	金	チャレンジタイム 運動会前日準備
7	土	ムランピック (村君小運動会)
8	日	運動会予備日
9	月	振替休業日
10	火	チャレンジタイム 登校指導 安全点検
11	水	チャレンジタイム 委員会
12	木	おはよう運動 校内授業研究会
13	金	短学活 なかよしハイキング
14	土	県民の日
15	日	
16	月	お話会(456年)
17	火	児童集会 SSW学校巡回
18	水	チャレンジタイム 書き初め指導
19	木	おはよう運動 学校保健委員会
20	金	チャレンジタイム クラブ
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	なかよしあそび
25	水	チャレンジタイム スクールカ ウンセラ―来校
26	木	おはよう運動 学習参観 校内持久走大会
27	金	チャレンジタイム 校内持久走大会予備日
28	土	
29	日	
30	月	読み聞かせ(123年)



利根川の自然を体感

羽生・村君小児童

羽生市立村君小学校(児童数58人)の4、5年生12人が15日、学校近くを流れる利根川をボートで下った。

児童たちは栃木県日光市の「栃木カヤックセンター」のラフティングガイドからパドルの使い方などを学び、ボート3艇に分乗。1時間半ほどかけて約6キロ下流の加須未来館(加須市)脇まで下った。様々な鳥の声を聞きながら自然を楽しみ、むだけでなく、台風などで割けたり折れたりした大木を見て、その奇麗も学んだ。例年の実施は6、7月。運が良ければ川面をジャンプするハクレンを見ることができた。4年生の五ヶ谷禮士君は「ハクレンも見たいし、秋と夏で利根川がどう違うのかも知りたいなあ」と、早くも次を心待ちにしていた。(猪俣明博)

利根川の自然満喫

羽生・村君小の児童 ボートで生き物観察



ボートをパドルでこいで利根川の秋を体験する村君小学校の児童。加須市外野の加須未来館付近

約2時間、体験学習した。途中の砂地で休憩した以外は、ボート上で一生懸命パドルをこき続けた。

4年生の折原紗羽(さわ)さん(10)は「思ったよりこるのが大変だった。カモが近くに飛んできていた。面白かった」とこぼした。

5年生の金子夏都(なつ)君(11)は「2度目の参加なのでパドルには慣れた。去年は夏(7月)だったので、暑かった。(魚の)ハクレンもいた。今年は秋で、寒かった。様子が違ったけど、楽しかった」と話していた。

高橋社長は「みんながハイペースでこいでくれた。最後まで元気いっぱいだった。いつもは7月に学習を行っているが、今年は新型コロナウイルスの影響で10月になった。5年生は夏と秋の違いも感じてもらえたのでは」と話した。

羽生市立村君小学校(鳥海一寿校長、児童数58人)の4、5年生12人が15日、近くを流れる利根川で、ボートをパドルでこいで加須未来館(加須市外野)付近まで約6キロを下る体験学習を行った。自然に囲まれた同小ならではの学習で、今年で15年目。3隻のボートに分乗し、秋の利根川の景色や生き物の様子を観察した。

(江利川義雄)

栃木県日光市の栃木カヤックセンター(高橋克佳社長)が指導、国土交通省利根川上ターミナルからパドル操作を教わ

流河川事務所川俣出張所(鈴り、ライフジャケットを着て